

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0903020

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○事業期間 平成19年度～平成24年度 ○総事業費 597,610千円 ○事業内容 幌内漁港の外郭の改良及び補修
基本施策	3 水産業の振興	事業優先度	A	
単位施策	2 経営基盤の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武地区特定漁港漁場整備事業(漁港整備・幌内)	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	北海道	関係課	#N/A	
事業指標	工事進捗率		#N/A	
事業目標	100%	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計画内容	幌内漁港の外郭の改良及び補修事業の促進	○幌内漁港 ・北防波堤改良 L=35m	○幌内漁港 ・北防波堤改良 L=34.9m	○幌内漁港 ・北防波堤改良 L=29.8m	○幌内漁港 ・北防波堤改良 L=10.1m	○幌内漁港 ・東防波堤補修 L=30.0m
	○総事業費 505,239千円	総事業費 140,000千円	総事業費 156,450千円	総事業費 120,000千円	総事業費 98,610千円	総事業費 50,000千円
計画事業費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他 一般財源	0				
実績事業費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他 一般財源	0				
関連事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等) 総事業費 55,280千円 北防波堤改良 L=12.7m	(実施内容等) 総事業費 195,000千円 北防波堤改良 L=41.2m	(実施内容等) 総事業費 106,000千円 北防波堤改良 L=27.7m	(実施内容等) 総事業費 98,610千円 北防波堤改良 L=10.2m
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	工事進捗率	工事進捗率	工事進捗率	工事進捗率
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	雄武地区特定漁港漁場整備事業(漁港整備・幌内)	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	中村文隆

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	工事進捗率
【抱える課題やニーズは】	漁港の早期完成による漁業環境の安全性・効率化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	漁港整備により、安全で効率的な漁業環境の形成を図る。	① 工事進捗率	目標年度 平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	老朽化施設の改良・補修による静穏度確保により、安全で快適な漁港機能の向上を図る。		目標値 100%
			実績値 100%
			達成度 100.0%
		②	目標年度 年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	漁港整備	東防波堤補修30mの整備(外郭施設の整備のため地元負担はない。)	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	幌内漁港は本町の水産物の生産拠点として重要な役割を担っており、安全で効率的な漁業地域の形成を図るために必要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	老朽化施設の改良・補修による静穏度確保により、安全で快適な漁港機能の整備が図られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	施設整備内容により、道と町との負担割合が定められているが、本漁港の整備に係る地元負担金は生じない。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

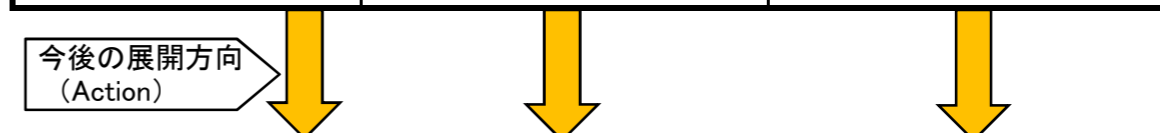
公平	判断の理由	漁業生産活動の基地である漁港整備は、漁業経営基盤の強化を図るために重要な事業であり、本漁港の整備に係る地元負担金は生じない。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
老朽化施設の改良・補修による静穏度確保により、安全で快適な漁港機能の整備が図られている。		



終了		
計画通り事業が完了したため終了となるが、近年の漁業情勢の変化に伴い、漁港内が狭隘しているなどの課題が生じており、新たな事業計画による拡張整備が必要となっている。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止